

＜令和 7 年度＞

養父市の決算状況

令和 8 年 9 月

兵庫県 養父市

目 次

I	決算の状況について	1
II	普通会計決算の状況について	
1	決算規模	2
2	歳入決算の状況	3
3	歳出決算の状況	8
III	基金の状況について	13
IV	財政指標について	14

本文中の数値は、それぞれの項目において四捨五入しており、合計数値と整合しない場合があります。

類似団体や近隣団体の数値は総務省が公表している「財政状況類似団体比較カード」によるものであり、決算数値が公表されていない場合は「－」で表示しています。

I. 決算の状況について

一般会計、4 特別会計及び2 企業会計により市政を運営しています。

本年度は、一般会計及び特別会計で黒字決算となりましたが、水道事業会計及び下水道事業会計では赤字決算となりました。

決算剰余金について、一般会計、国民健康保険特別会計の事業勘定で1/2 程度を基金に積み立てました。

【各会計の決算状況】

(単位:千円)

区 分		予算額	歳入決算額	歳出決算額	差 引
一 般 会 計 ①		22,529,709	21,938,901	20,936,401	1,002,500
				繰り越すべき額	79,641
				実質収支	922,859
				基金積立額	470,000
				翌年度繰越額	452,859
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2,714,801	2,701,512	2,661,585	39,927
	事 業 勘 定	2,512,800	2,511,552	2,471,625	39,927
				基金積立額	20,000
				翌年度繰越額	19,927
	大 屋 診 療 所 施 設 勘 定	117,094	110,112	110,112	0
	大 屋 歯 科 診 療 所 施 設 勘 定	33,568	32,070	32,070	0
	出 合 診 療 所 施 設 勘 定	51,339	47,777	47,777	0
	養 父 歯 科 診 療 所 特 別 会 計	54,339	51,050	51,050	0
特 別 会 計	後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	492,700	488,002	476,801	11,201
	介 護 保 険 特 別 会 計	3,838,336	3,784,882	3,755,442	29,440
小 計 ②		7,100,176	7,025,447	6,944,879	80,568
合 計 (①+②)		29,629,885	28,964,348	27,881,279	1,083,069

【公営企業会計の決算状況】

(単位:千円)

区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水 道 事 業 会 計	628,232	729,473	155,796	356,728
下 水 道 事 業 会 計	1,089,513	1,109,471	707,288	1,017,441

※公営企業会計は、税抜きの決算額

Ⅱ. 普通会計決算の状況について

1. 決算規模

本年度の決算規模は、定額減税に伴う調整給付金の減額や、地方債の償還が進んだことによる公債費の減などにより義務的経費が減額となりましたが、関宮地域局周辺整備事業費や道路橋りょう補修事業費など投資的経費が増額となり、前年度と比べて増額となりました。

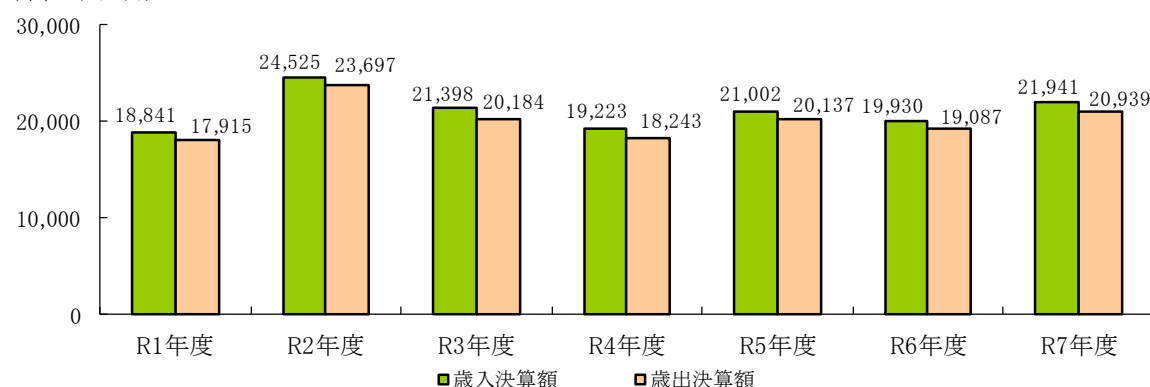
【決算規模と収支の状況】

(単位: 千円)

	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出 差引額	翌年度に繰り 越すべき財源	実質収支額	決算剰余金 基金積立額
令和7年度	21,941,129	20,938,629	1,002,500	79,641	922,859	470,000
令和6年度	19,929,707	19,086,914	842,793	81,853	760,940	390,000
増減額	2,011,422	1,851,715	159,707	△ 2,212	161,919	80,000
増減率(%)	10.1	9.7	18.9	△ 2.7	21.3	20.5

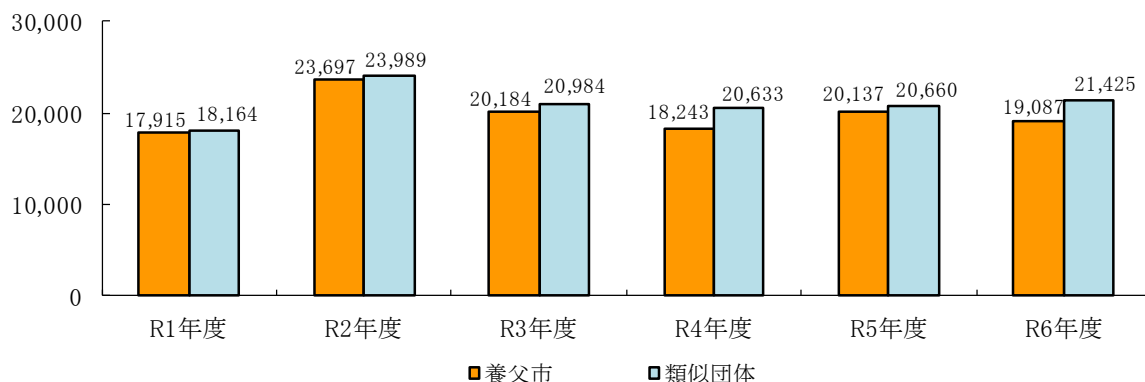
(単位: 百万円)

【決算規模の推移】



(単位: 百万円)

【養父市と類似団体の歳出決算規模の推移】



※普通会計とは・・・

個々の地方公共団体ごとに一般会計の範囲が異なっており、財政比較や統一的な掌握が困難なため、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分です。養父市では、「一般会計」及び「養父歯科診療所特別会計」が普通会計の対象となります。また、普通会計内の繰入れ、繰出しなどの重複を控除するなどして純計決算額を計算します。

※類似団体とは、全国の市町村を人口と産業構造により幾つかのグループに分けたもので、各グループの平均的数値を類似団体の標準としている。令和7年度の数値は、現時点で未公表。

2. 歳入決算の状況

自主財源の比率は 26.3%となり、前年度の 25.7%と比べて増加しました。これは市税及び寄附金の増収が大きな要因です。

地方交付税や国庫支出金など依存財源の比率は 73.7%と高く、国の施策等により大きな影響を受けやすい財政基盤の弱い財政構造が続いています。

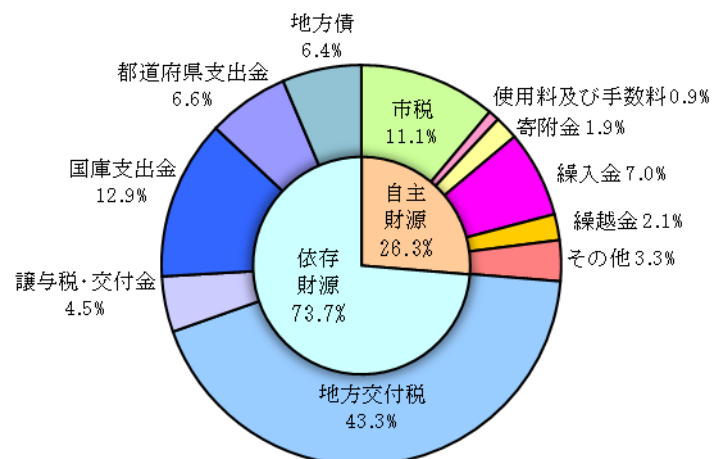
【歳入決算の内訳】

(単位:千円、%)

区 分		R7年度決算	構成比	R6年度決算	構成比	増減額	増減率
自主財源	市税	2,439,019	11.1	2,263,953	11.4	175,066	7.7
	分担金及び負担金	176,635	0.8	158,556	0.8	18,079	11.4
	使用料及び手数料	201,894	0.9	207,416	1.0	△ 5,522	△ 2.7
	財産収入	200,656	0.9	164,673	0.8	35,983	21.9
	寄附金	425,102	1.9	296,141	1.5	128,961	43.5
	繰入金	1,525,212	7.0	1,133,167	5.7	392,045	34.6
	繰越金	452,793	2.1	485,392	2.4	△ 32,599	△ 6.7
	諸収入	340,531	1.6	419,889	2.1	△ 79,358	△ 18.9
小 計		5,761,842	26.3	5,129,187	25.7	632,655	12.3
依存財源	地方譲与税	240,903	1.1	234,634	1.2	6,269	2.7
	利子割交付金	4,692	0.0	1,659	0.0	3,033	182.8
	配当割交付金	29,984	0.1	29,573	0.2	411	1.4
	株式等譲渡所得割交付金	45,514	0.2	38,985	0.2	6,529	16.7
	地方消費税交付金	592,249	2.7	548,424	2.8	43,825	8.0
	自動車取得税交付金	-	0.0	-	0.0	0	0.0
	環境性能割交付金	24,937	0.1	27,962	0.1	△ 3,025	△ 10.8
	法人事業税交付金	52,871	0.2	48,745	0.2	4,126	8.5
	地方特例交付金	12,863	0.1	101,142	0.5	△ 88,279	△ 87.3
	地方交付税	9,491,971	43.3	9,394,239	47.1	97,732	1.0
	交通安全対策特別交付金	2,764	0.0	2,973	0.0	△ 209	△ 7.0
	国庫支出金	2,833,565	12.9	2,107,114	10.6	726,451	34.5
	都道府県支出金	1,446,074	6.6	1,231,108	6.2	214,966	17.5
	地方債	1,400,900	6.4	1,033,962	5.2	366,938	35.5
小 計		16,179,287	73.7	14,800,520	74.3	1,378,767	9.3
合 計		21,941,129	100.0	19,929,707	100.0	2,011,422	10.1

※自主財源…養父市が自主的に収入し得る財源であり、この数値が大きいほどその団体の財政運営の自主性と安定性が確保される。

※依存財源…国・県から一定の基準により交付されたり、割り当てや配分されたりするもの。



(1) 市税の状況

個人市民税は定額減税が終了したことなどにより前年度から107百万円の増額となりました。法人市民税は法人税割が増額となったことにより73百万円の増額となりました。固定資産税は土地が下落修正による価格の見直しによる減額、家屋が新築家屋の増加により増額、償却資産が新規資産の減により減収したため、全体で4百万円の減額となりました。

市税合計では前年度と比べて175百万円の増額となりました。市民1人当たりの市税収入額は類似団体や近隣団体と比べて低い状況です。

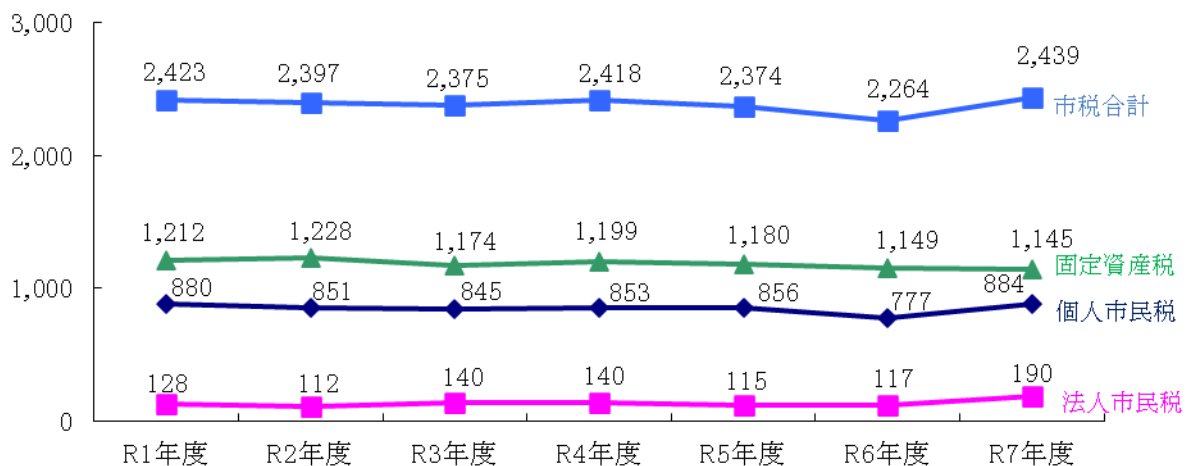
【市税の推移】

(単位:百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
個人市民税	880	851	845	853	856	777	884
法人市民税	128	112	140	140	115	117	190
固定資産税	1,212	1,228	1,174	1,199	1,180	1,149	1,145
その他税	203	206	216	226	223	221	220
市税合計	2,423	2,397	2,375	2,418	2,374	2,264	2,439

(単位:百万円)

【主な市税の推移】



【市民1人当たりの市税収入額】

(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	104,308	105,003	106,073	110,074	110,480	107,782	119,064
類似団体	144,788	143,342	123,334	128,566	128,944	128,609	-
豊岡市	123,919	122,439	120,726	128,177	130,458	128,480	-
朝来市	148,516	150,078	150,950	153,937	152,474	151,957	-

※類似団体や近隣団体の決算数値が公表されていない場合は「-」で表示しています。

※各年度1月1日現在の住民基本台帳人口を採用しています。

(以下の表についても同様ですので、この注意書きは表記しません。)

【市税の収納状況】

(単位:%、千円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
現年課税徴収率	98.7	97.5	98.8	99.1	99.0	99.3	99.3
滞納繰越徴収率	20.1	18.6	37.0	20.6	21.9	22.5	26.1
滞納累計額	120,409	151,415	109,825	82,525	79,974	63,123	60,755

(2) 地方交付税の状況

普通交付税は、合併特例として旧 4 町それぞれの交付税額を合算した合併算定額が交付されていましたが、平成 27 年度以降 5 年間で段階的に減額となり、令和 2 年度からは養父市一本算定となりました。

普通交付税額は、国の総合経済対策に係る臨時経済対策分や人事院勧告に基づく給与改定に関する経費対応分等の追加交付による増額がありましたが、公債費の減や水道高料金対策が皆減したことなどにより基準財政需要額が減額したため、前年度と比べて 60 百万円の減額となりました。

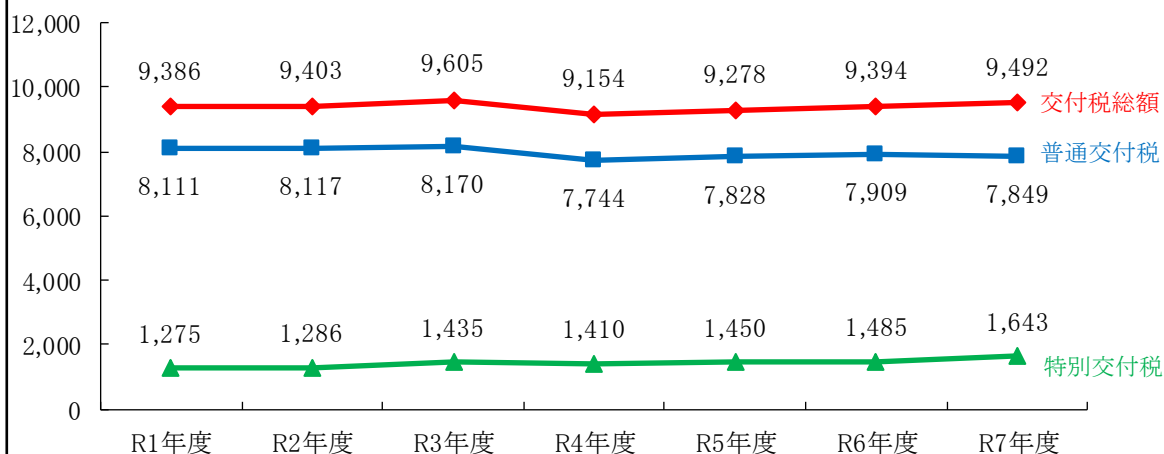
特別交付税額は、除排雪に関する経費や病院繰出金に対する経費の増などにより前年度と比べて 158 百万円の増額となりました。

(単位:百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
交付税総額	9,386	9,403	9,605	9,154	9,278	9,394	9,492
普通交付税	8,111	8,117	8,170	7,744	7,828	7,909	7,849
特別交付税	1,275	1,286	1,435	1,410	1,450	1,485	1,643

(単位:百万円)

【地方交付税の推移】



【市民1人当たりの地方交付税収入】

(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	404,058	411,963	428,984	416,697	431,773	447,238	463,362
類似団体	124,514	132,878	179,462	179,975	185,838	194,756	—
豊岡市	216,818	218,891	235,238	232,397	233,968	239,883	—
朝来市	262,294	266,646	286,374	283,418	284,369	296,987	—

※普通交付税は、歳入と歳出の差を補填される制度ですので、交付税収入が大きいことは、養父市の歳入額が少ないことを表しています。

(3) 国・県支出金の状況

国庫支出金は、デジタル田園都市国家構想交付金や物価高騰対応重点支援地方創生交付金が減となりましたが、児童手当交付金や新しい地方経済・生活環境創生交付金の増などにより、713 百万円の増額となりました。

県支出金は、畜産・酪農収益力強化整備事業補助金、農地・農業用施設災害復旧事業費補助金の増、国勢調査市町委託金や地籍調査事業委託金の増などにより前年度と比べて 224 百万円の増額となりました。

(単位:百万円)

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
国費	負担金	1,139	1,041	1,160	1,062	1,025	1,079	1,150
	補助金	250	3,504	1,471	1,352	1,210	1,007	1,649
	委託金	5	7	7	6	7	7	8
	計	1,394	4,552	2,638	2,420	2,242	2,093	2,806
県費	負担金	468	495	490	489	493	524	518
	補助金	639	558	433	477	396	480	667
	委託金	270	246	290	204	157	210	253
	計	1,377	1,299	1,213	1,170	1,046	1,214	1,438

※一般会計の国県支出金内訳

(4) 繰入金の状況

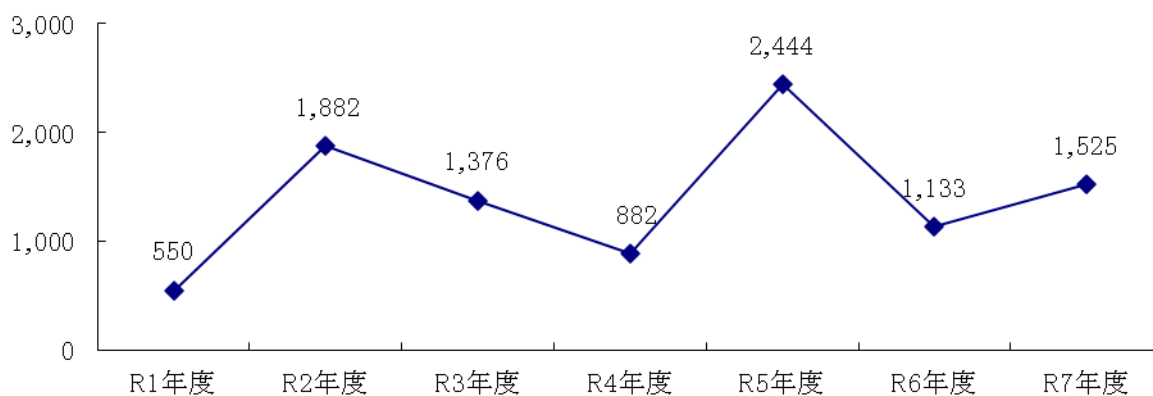
財政調整基金から公立八鹿病院組合特別負担金や物価高騰対策経費等の財源調整のため 61 百万円を、減債基金から地方債の繰上償還等のために 230 百万円を繰り入れました。

公共施設等整備基金から関宮地域局周辺整備事業や庁舎給水設備改修事業などに 712 百万円、元気な養父づくり応援基金から社会福祉協議会活動費などに 398 百万円、創生基金からバーチャルやぶ推進事業などに 52 百万円、森林経営管理基金から森林保全経費に 3 百万円、その他の基金から 46 百万円を繰り入れました。

このほか、介護保険特別会計で実施していた介護予防事業の一部を令和 6 年度以降は重層的支援体制整備事業で実施したことに伴い、重層的支援体制整備事業に係る費用のうち介護保険料負担分 22 百万円を介護保険特別会計から繰り入れました。

(単位:百万円)

【繰入金の推移】



(5) 地方債の借入状況

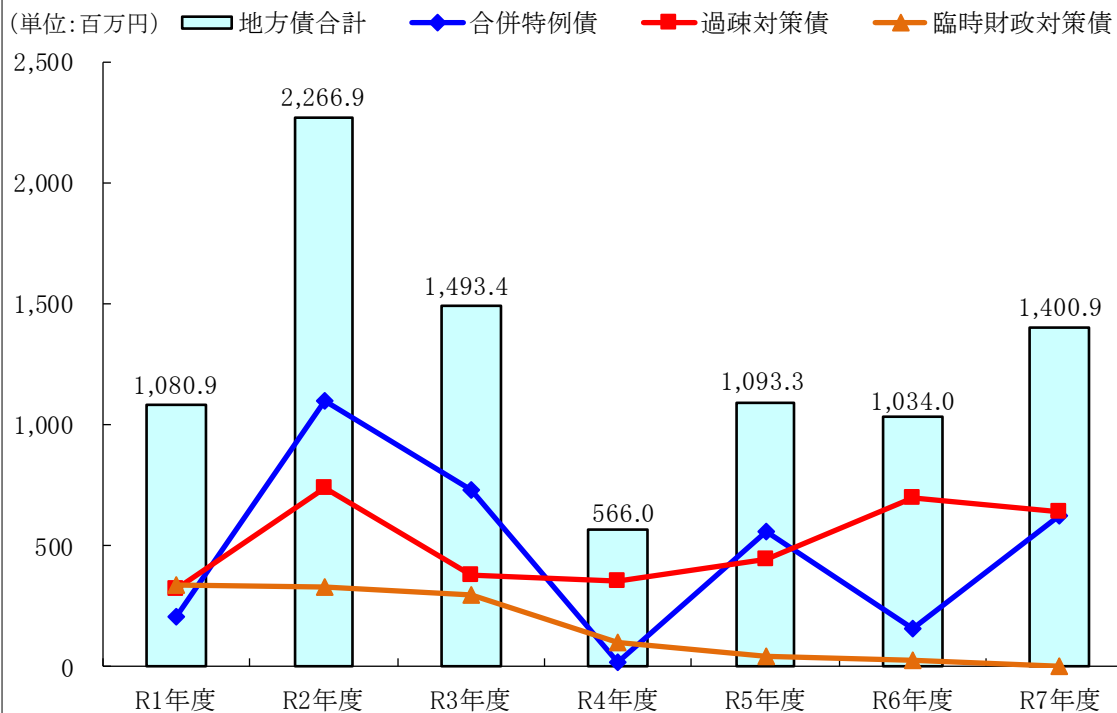
公立八鹿病院 PET-CT 整備事業負担金の減などにより過疎対策事業債が 50 百万円の減額となりましたが、関宮地域局周辺整備事業などにより合併特例債が大きく増額となったことにより、地方債合計は前年度と比べて 367 百万円の増額となりました。

主な事業と借入額は、関宮地域局周辺整備事業 527.9 百万円、橋りょう長寿命化対策事業 146.1 百万円、中学校屋内運動場空調設備整備事業（養父・八鹿青溪中）76.4 百万円などです。

(単位:百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
合併特例債	207.5	1,097.1	732.1	19.5	560.4	158.9	624.8
過疎対策債	318.1	737.4	377.5	349.7	440.3	694.2	644.0
臨時財政対策債	333.8	327.1	292.8	101.8	46.3	22.4	0.0
その他市債	221.5	105.3	91.0	95.0	46.3	158.5	132.1
地方債合計	1,080.9	2,266.9	1,493.4	566.0	1,093.3	1,034.0	1,400.9

【主な地方債の借入状況】



【市民1人当たりの地方債の借入額】

(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	46,532	99,321	66,701	25,762	50,876	49,225	68,387
類似団体	54,182	55,578	58,385	45,936	45,443	57,652	—
豊岡市	44,843	45,044	49,565	37,599	26,607	31,486	—
朝来市	42,246	48,946	34,082	20,282	26,665	46,357	—

3. 歳出決算の状況

義務的経費は、給与改定による基本給の増や地域手当の制度改正などによる人件費の増額がありましたが、扶助費が定額減税に伴う調整給付金の減、公債費が地方債の償還が進んだことによる減により総額で46百万円の減額となりました。

投資的経費は、普通建設事業費が関宮地域局周辺整備事業や道路橋りょう補修事業費の増額などにより1,981百万円の増額となりました。

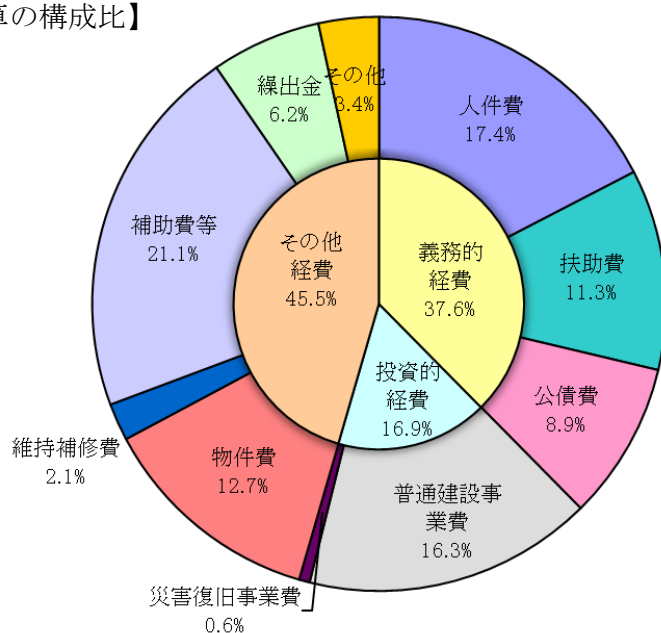
その他経費は、積立金が201百万円の減額、補助費等が公立八鹿病院組合特別負担金の影響で209百万円増額したことなどにより、80百万円の増額となりました。

【性質別歳出決算の内訳】

(単位:百万円、%)

区 分	R7年度	構成比	R6年度	構成比	増減額	増減率
人件費	3,647	17.4	3,456	18.1	191	5.5
扶助費	2,362	11.3	2,417	12.7	△ 55	△ 2.3
公債費	1,856	8.9	2,038	10.7	△ 182	△ 8.9
義務的経費 計	7,865	37.6	7,911	41.4	△ 46	△ 0.6
普通建設事業費	3,408	16.3	1,427	7.5	1,981	138.8
災害復旧事業費	127	0.6	290	1.5	△ 163	△ 56.2
投資的経費 計	3,535	16.9	1,717	9.0	1,818	105.9
物件費	2,655	12.7	2,660	13.9	△ 5	△ 0.2
維持補修費	435	2.1	360	1.9	75	20.8
補助費等	4,420	21.1	4,211	22.0	209	5.0
繰出金	1,310	6.2	1,299	6.8	11	0.8
その他	719	3.4	929	4.9	△ 210	△ 22.6
その他経費 計	9,539	45.5	9,459	49.6	80	0.8
合 計	20,939	100.0	19,087	100.0	1,852	9.7

【性質別歳出決算の構成比】



(1) 投資的経費の状況

普通建設事業費は、関宮地域局周辺整備事業費や道路橋りょう補修事業費の増額などにより、1,981百万円の増額となりました。

災害復旧事業費は、令和5年台風7号災害にかかる本復旧費の減により、前年度と比べて163百万円の減額となり、投資的経費全体で1,818百万円の増額となりました。

【投資的経費の比較】

(単位:百万円、%)

区 分	令和7年度	令和6年度	増減額	増減率
投資的経費	3,535	1,717	1,818	105.9
普通建設事業費	3,408	1,427	1,981	138.8
現年度事業費	1,545	1,144	401	35.1
繰越明許事業費	1,863	283	1,580	558.3
災害復旧事業費	127	290	△ 163	△ 56.2

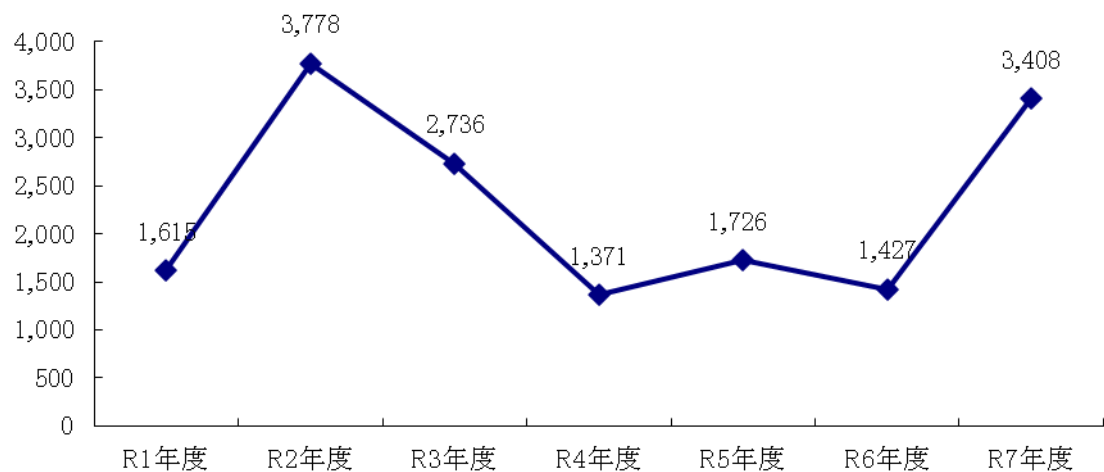
【主な普通建設事業】

(単位:千円)

事業名等	現年度事業費	繰越明許事業費	合 計
庁舎給水設備改修事業	46,200		46,200
関宮小さな拠点(仮称)整備事業	557,121	1,006,860	1,563,981
老人福祉センター空調改修事業	25,399		25,399
広谷こども園空調設備更新事業	13,486		13,486
養父市斎場火葬炉等大規模修繕事業	26,510		26,510
畜産クラスター事業補助金	97,681		97,681
ほ場整備事業(大塚・九鹿)	33,145		33,145
道の駅ようか・但馬の蔵 食堂・厨房空調更新事業	21,064		21,064
市道朝倉高柳線道路改良事業		65,946	65,946
橋りょう長寿命化対策事業	117,868	266,597	384,465
防災告知システム予備機購入事業	19,595		19,595
屋内運動場空調設備整備事業(養父・八鹿青溪中)	76,439		76,439

(単位:百万円)

【普通建設事業費の推移】



(2) 公債費の状況

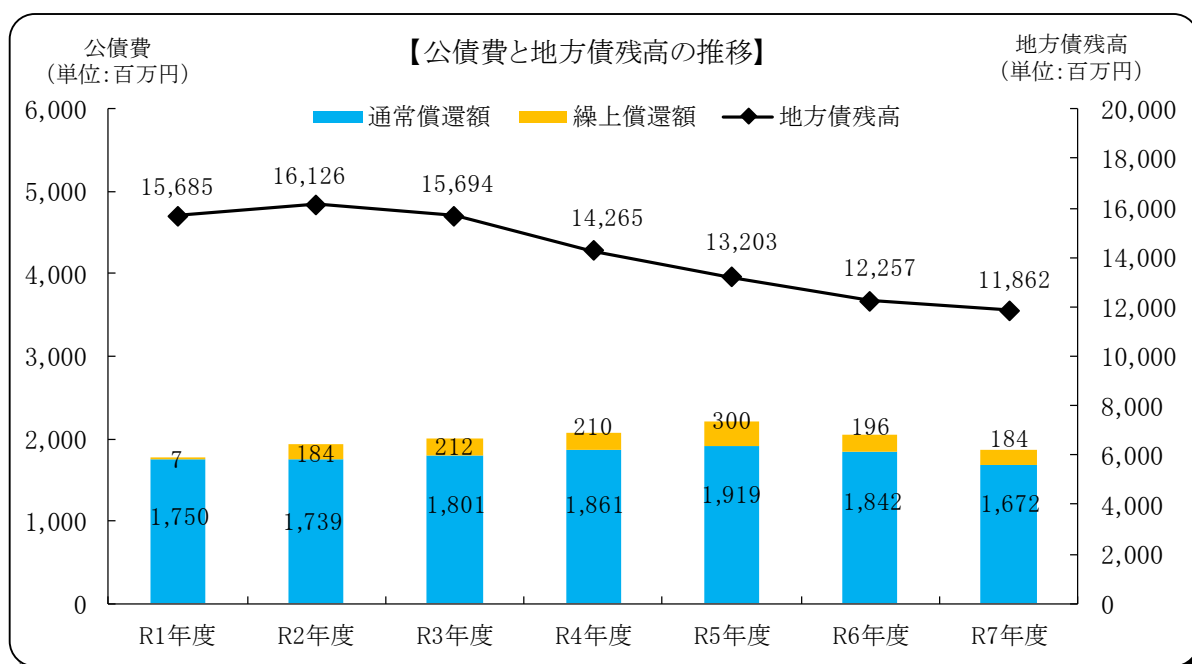
地方債元利償還金は、通常償還額が合併特例債及び過疎対策事業債などで減少したこと、繰上償還額が前年度より少額であったことなどにより全体で182百万円の減額となりました。地方債残高は、新規地方債の発行抑制を行ったこと及び償還が進んだことなどにより前年度と比べ395百万円の減額となりました。

市民1人当たりの公債費は近隣団体と比べると同水準となっていますが、地方債残高は近隣団体より高い水準となっています。類似団体と比べると公債費、地方債残高ともに上回っています。

【公債費と地方債残高の推移】

(単位:百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
公債費	1,757	1,923	2,013	2,071	2,219	2,038	1,856
通常償還額	1,750	1,739	1,801	1,861	1,919	1,842	1,672
繰上償還額	7	184	212	210	300	196	184
地方債残高	15,685	16,126	15,694	14,265	13,203	12,257	11,862



【市民1人当たりの公債費(繰上償還を含む)】

(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	75,633	84,240	89,902	94,264	103,281	97,047	90,602
類似団体	51,504	54,857	58,193	59,133	62,023	61,365	—
豊岡市	81,935	84,163	85,852	81,660	79,673	75,709	—
朝来市	115,159	107,974	125,340	106,446	104,743	92,165	—

【市民1人当たりの地方債残高】

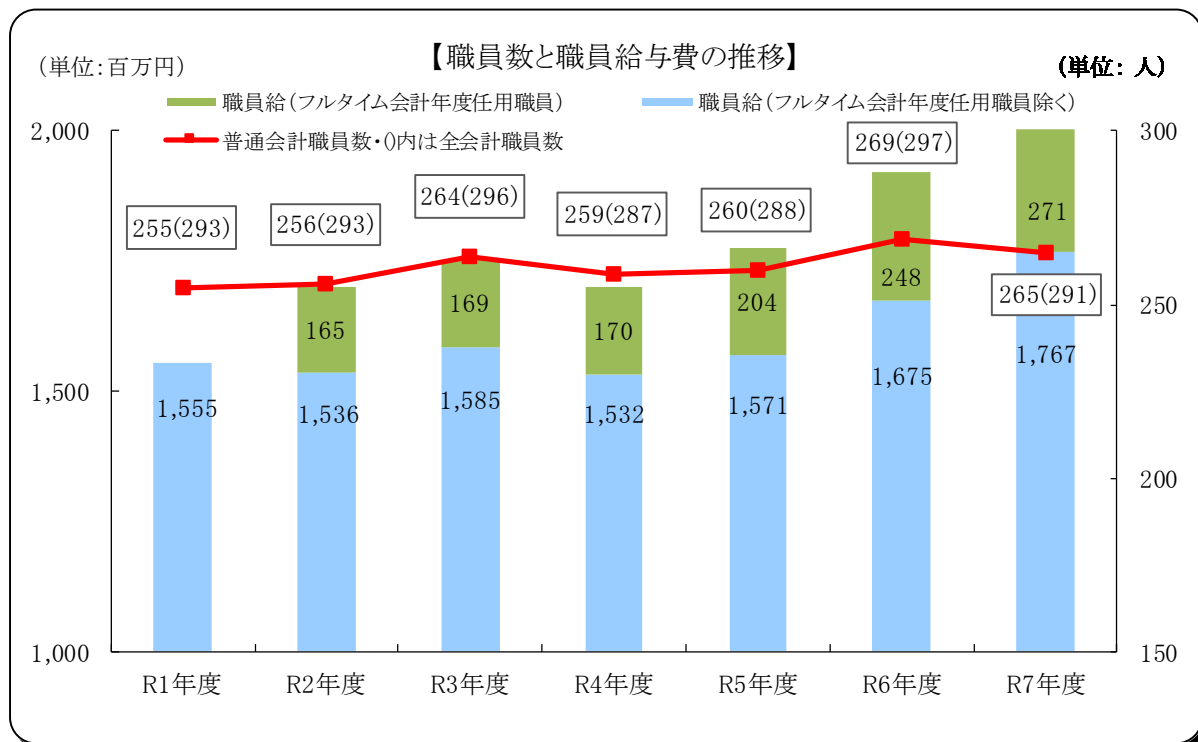
(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	675,237	706,558	700,966	649,305	614,401	583,541	579,073
類似団体	526,996	539,562	552,551	547,856	544,100	552,885	—
豊岡市	639,002	611,886	586,490	553,226	510,843	478,014	—
朝来市	732,042	688,922	614,661	541,583	474,086	438,476	—

(3) 職員給与費の状況 (※注)

令和7年4月1日時点の普通会計の職員数は265人で前年度より4人減となっています。職員給与費については、人事院勧告に基づく基本給の引き上げや地域手当の制度改正などにより115百万円の増額となりました。

市民1人当たりの職員給与費は類似団体や近隣団体と比べて高くなっています。令和6年度から5年間を期間とする定員管理計画を策定し、新しい行政課題に対応するため計画的に新規職員を採用するなど、組織の活性化を図っています。



【市民1人当たりの職員給与費(投資的経費の給与費を含む)】

(単位: 円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	66,937	74,553	78,336	77,470	82,588	91,523	99,513
類似団体	47,970	50,703	53,984	54,086	55,124	57,880	—
豊岡市	58,688	60,180	62,734	62,258	62,835	66,445	—
朝来市	59,762	63,817	67,156	67,410	69,318	74,107	—

(※注)

令和2年度から会計年度任用職員制度が開始したことに伴い、職員給与費にはフルタイム会計年度任用職員の給与を含むこととなりました。便宜上、グラフにおいてはフルタイム会計年度任用職員と従来の職員の給与費を分けて表示しています。また、職員数にはフルタイム会計年度任用職員を含みません。

市民1人当たりの職員給与費は、令和2年度からフルタイム会計年度任用職員を含む職員給与費を用いて算出しています。

(4) 特別会計繰出金の状況 (※注)

各特別会計への繰出金の総額は1,894百万円で前年度と比べて84百万円の減額となりました。水道事業会計への高料金対策に係る繰出金の減などにより111百万円の減額になったことが主な要因です。

下水道事業会計はコミュニティプラント事業の建設改良費及び分流式下水道経費の増による増額、国民健康保険特別会計は被保険者数の減により減額、後期高齢者医療特別会計は被保険者数の増により増額となりました。

【特別会計への繰出金の推移】

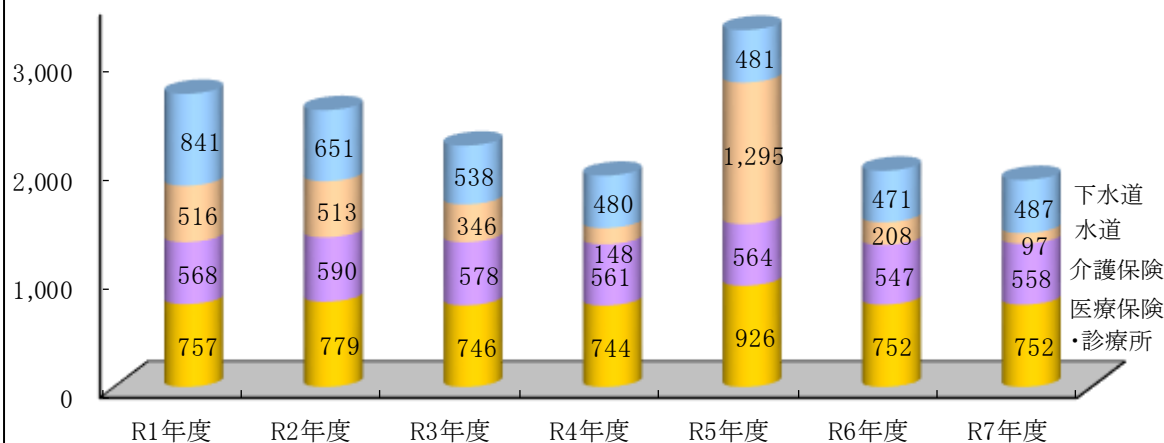
(単位:百万円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
国民健康保険特別会計	210	208	208	211	211	195	190
国保直営診療所施設勘定	44	74	45	48	234	60	58
後期高齢者医療特別会計	503	497	493	485	481	497	504
介護保険特別会計	568	590	578	561	564	547	558
水道事業会計	516	513	346	148	1,295	208	97
下水道事業会計	841	651	538	480	481	471	487
合 計	2,682	2,533	2,208	1,932	3,267	1,978	1,894

※後期高齢者医療特別会計には兵庫県後期高齢者医療広域連合負担金を含む。

【繰出金の推移】

(単位:百万円)



(※注)

地方公営企業法を適用する企業会計である水道事業及び下水道事業への繰出しは補助費と出資金に計上されますが、便宜上「特別会計繰出金」として整理し、上記の表やグラフを作成しています。したがって、当該「特別会計繰出金」の総額と性質別歳出決算額の「繰出金」の額は一致しません。

Ⅲ. 基金の状況について

前年度の決算剰余金積立などにより財政調整基金に 250 百万円、減債基金に 191 百万円、ふるさと納税により元気な養父づくり応援基金に 425 百万円、将来的な公共施設等の更新や除却費用の財源とするために公共施設等整備基金に 17 百万円を積み立てました。取崩額 1,503 百万円を差し引いた基金残高は前年度と比べて 595 百万円の減額となりました。

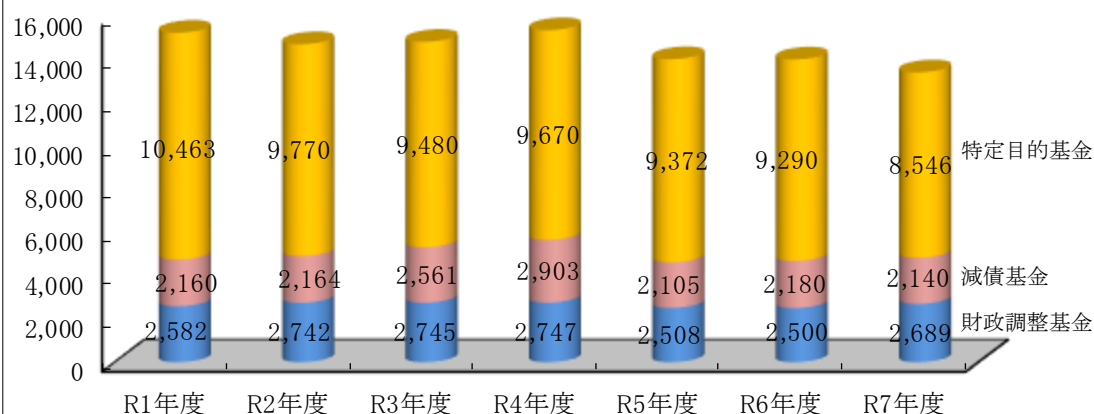
【基金の状況】

(単位:百万円)

基金名称	令和6年度 末 残 高	令和7年度中の移動		令和7年度 末 残 高
		積 立 金	取 崩 額	
財 政 調 整 基 金	2,500	250	61	2,689
減 債 基 金	2,180	191	230	2,140
特 定 目 的 基 金	9,290	466	1,211	8,546
地域福祉基金	619	2	0	622
ふるさと・水と土保全対策基金	41	0	0	41
学校整備基金	35	1	0	36
地域振興基金	2,313	9	28	2,293
元気な養父づくり応援基金	680	425	398	706
公共施設等整備基金	4,371	17	712	3,677
過疎対策基金	569	2	18	554
企業誘致推進基金	224	5	0	229
創生基金	405	2	52	355
森林経営管理基金	33	3	3	33
合 計	13,970	908	1,503	13,375

(単位:百万円)

【基金残高の推移】



【市民 1 人当たりの基金残高】

(単位:円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養 父 市	654,584	643,021	660,376	697,372	650,841	665,094	652,921
類似団体	160,052	174,195	216,484	231,633	234,934	244,621	—
豊 岡 市	249,756	255,442	268,013	287,060	297,245	314,893	—
朝 来 市	322,696	338,874	363,392	381,881	397,123	411,704	—

IV. 財政指標について

【健全化判断比率】

実質赤字比率と連結実質赤字比率は、実質赤字額及び連結実質赤字額が生じていないため比率は算定されませんでした。

実質公債費比率は、一般会計の元利償還金の減少や一部事務組合及び公営企業の元利償還金に対する繰出金が減少したことなどにより前年度と比べて0.4ポイント減少しています。

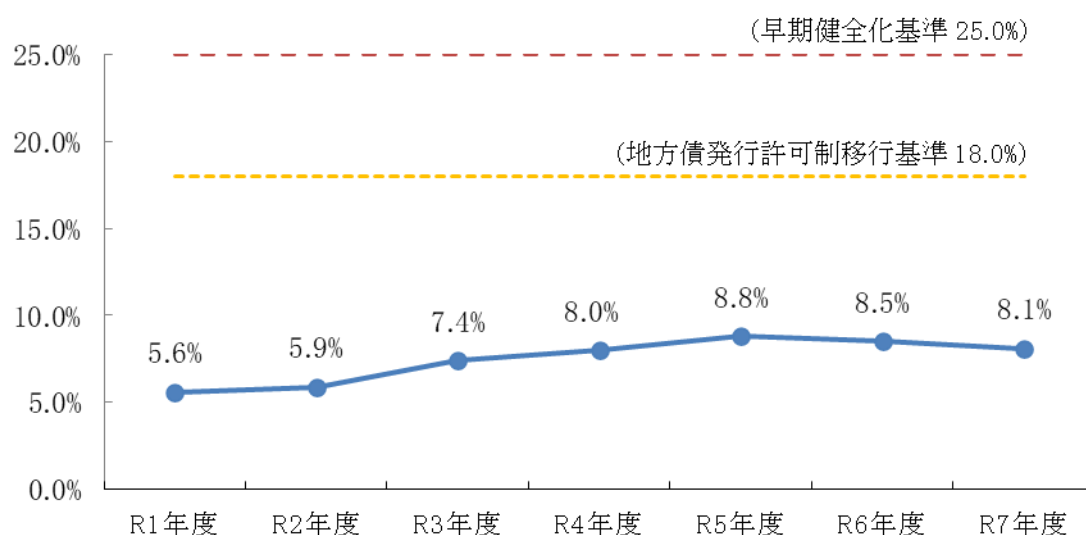
将来負担比率は、基金等の充当可能財源等が将来負担額を上回るため前年度に引き続き比率は算定されませんでした。

(単位: %)

区 分	決 算 年 度		令和7年度 判定基準	
	令和7年度	令和6年度	早期健全化	財政再生
実質赤字比率	—	—	13.17	20.00
連結実質赤字比率	—	—	18.17	30.00
実質公債費比率	8.1	8.5	25.0	35.0
将来負担比率	—	—	350.0	

※実質赤字額、連結実質赤字額及び将来負担比率が生じない場合は「—」で表示しています。

【実質公債費比率の推移】



【財政力指数】

財政力指数は非常に低く、県下市町の中で最低水準となっています。

類似団体や近隣団体と比べてもかなり低い状況であるため、公共施設の適正化や歳出の抑制及び自主財源の確保などの持続可能な財政運営を構築していくことが重要な課題となっています。

【財政力指数の推移】

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	0.23	0.24	0.24	0.24	0.25	0.25	0.25
類似団体	0.57	0.57	0.45	0.44	0.43	0.43	—
豊岡市	0.39	0.39	0.38	0.38	0.38	0.39	—
朝来市	0.39	0.40	0.39	0.39	0.39	0.39	—

財政力指数とは

自治体の財政力を示す指数で、指数が高いほど財源に余裕があるとされています。その団体における基準的収入額を基準的需要額で除して得た数値の3ヵ年平均をした数値で表します。

【経常収支比率】

経常一般財源（臨時財政対策債を含む。）が法人市民税の増などにより75百万円増額しましたが、経常経費充当一般財源が人件費、物件費の増などにより222百万円増額したため比率が1.5ポイント上昇して99.1%となりました。財政構造の硬直化が一層進行しています。

【経常収支比率の推移】

（単位：%）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	89.2	90.2	91.5	94.2	97.4	97.6	99.1
類似団体	92.4	91.3	88.3	92.4	94.0	94.7	—
豊岡市	93.4	94.9	92.0	93.1	93.8	96.1	—
朝来市	89.9	89.1	85.6	89.0	89.9	89.7	—

経常収支比率とは

自治体の財政構造の弾力性を測定する比率として使われます。

計算式は、経常経費充当一般財源／経常一般財源総額×100（％）で表され、経常的な経費に経常的に収入される一般財源がどの程度充てられているかを示した比率で、比率が小さいほど、臨時の財政需要に充当できる経常一般財源が大きくなり、財政構造が弾力的であるといえます。

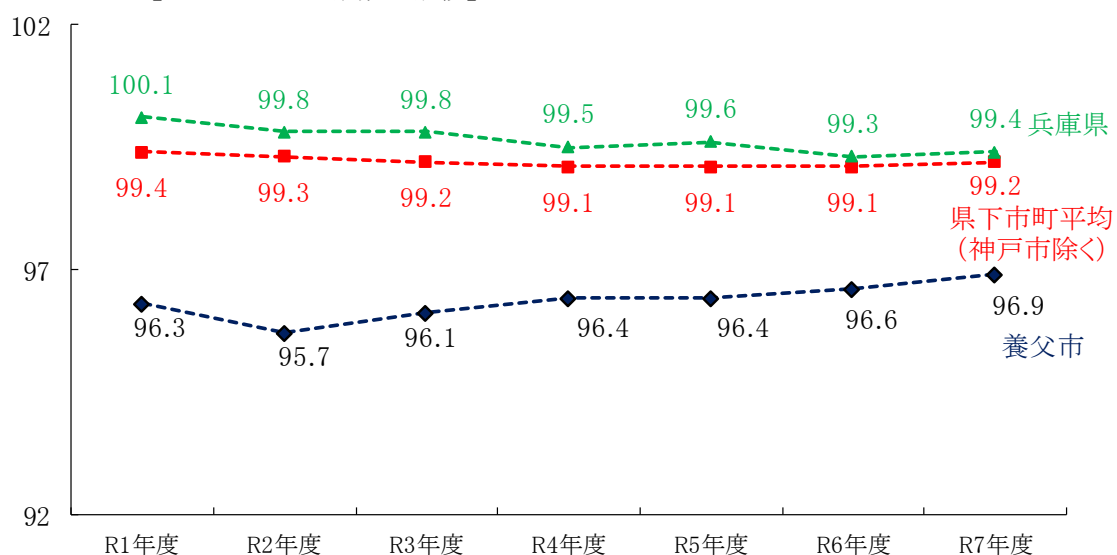
【ラスパイレス指数】

兵庫県や県内市町平均（神戸市除く）と比べて低い水準で推移し、本年度は 96.9 となっています。

【ラスパイレス指数の推移】

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
養父市	96.3	95.7	96.1	96.4	96.4	96.6	96.9
県下市町平均 (神戸市除く)	99.4	99.3	99.2	99.1	99.1	99.1	99.2
兵庫県	100.1	99.8	99.8	99.5	99.6	99.3	99.4

【ラスパイレス指数の推移】



ラスパイレス指数とは

個々に異なる自治体職員の給与水準を比較するために用いられる指数で、自治体職員の構成が国の構成と同一であると仮定し、国を 100 として比較します。